

玉重議員（自民議連）

令和6年12月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問） 公立、私立を含めたすべての高校の10年後の在り方について

10年後の高校入学者数の減少を見据えた、県内の公立、私立を含めたすべての高校のあり方について、どのように考えているのか、例えば、都市部への一極集中を是正して、中山間地域へ工業高校、商業高校等や情報、通信学科等の移転も含めた適正配置を考え、実施することで、都市部から中山間の高等学校に進学する流れを作らないといけないと思うが、教育長の所見を伺う。

（答）

急速なデジタル技術の進展や人口減少・少子高齢化の進展など社会情勢が大きく変化している中で、地理的条件などにかかわらず、生徒が自らの能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じた高等学校教育を受けることができるよう、全県的な視野に立って教育環境を整備することが大変重要であると認識しております。

このため、本年3月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画・第2期」におきまして、

- ・ 県立高等学校は将来の中学校の卒業者数の推移を見据え、生徒の通学時間等を考慮しつつ、県内各地域にバランスよく配置すること、
- ・ 今後の少子化の進展を見通した生徒の多様なニーズに応えるため、私立、市立及び国立高等学校と協力し合いながら役割分担を図ることなどを明記し、広島県全体の教育水準の維持・向上に努めることとしております。

基本計画に盛り込んだこのような考え方を具現化するため、地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることのできる魅力ある学校、課程及び学科等の適正な配置に向け、現在、様々な検討や有識者からの意見聴取等を行いながら、今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画の策定に取り組んでいるところでございます。

御指摘にございました、中山間地域における学校の配置や学科改編等につきましても、基本計画の趣旨に沿って、地域の持続的な発展を担う人材を育成するため、一層の特色化・魅力化を図るなど、様々な観点から検討を進め

てまいります。

検討を進めるに当たりましては、今後、県議会の皆様を始め、関係の皆様
に、適時適切に御意見を伺いながら、私立、市立及び国立高等学校との役割
分担も考慮しつつ、全県的な県立高等学校の10年後の在り方をお示しして
まいりたいと考えております。